

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	常備消防負担金事業	コード	消防防災係
		01-04-02-05	担当者 中島和久
事業実施期間	平成17年～		電話 64-1809
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目	安全で安心して暮らせるまちづくり	
	小項目	消防・防災	
	施策	消防体制の整備・充実	

事業について	
目的	消防組織法の規定に基づき設置した東備消防組合の費用負担を行う。
対象 (誰のために)	東備消防組合
内容	東備消防組合費用の負担、起債償還費用の負担

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
費用負担金	609,171 千円		
起債負担金	114,144 千円		
出勤延回数(備前市管内)	1,636 回		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	723,315	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	996	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	724,311	一般財源等	724,311	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.12	人		人
結果指標①	結果指標名	出勤延回数(備前市管内分)		
	結果指標量	1,636		
	単位	回		
	対前年比	—		
	事業費	724,311,000	円	円
	単当たりコスト①	442,733	円	円
結果指標②	結果指標名			
	結果指標量			
	単位			
	対前年比	—		
	事業費		円	円
	単当たりコスト②		円	円

事業の成果	
成果指標名	00411: 成果指標を求めないため、記入しない
17年度	
成果指標量	
対前年比	—
到達目標値	到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	—
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	一部事務組合としての東備消防組合への義務的経費は、業務内容を精査し、よりよい効率を求めた。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	—
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	市の義務的経費であるが、その運用に際し、精査することが重要である。	C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	東備消防組合の経費内容について精査する	平成19年度以降	義務的経費の軽減が図れる